

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	多摩市鶴牧1-25-2
園名	キッズサポート多摩めぐみクラブ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触遊び

<テーマの設定理由>

1歳児クラスでは感触遊びが好きな児と苦手な児が混在していて、色々な感触に出会った時の反応を見たい、何度か遊んでいる中での遊び方の変化を見たいという理由で感触遊びにテーマを決めました。

2. 活動スケジュール

5月 米粉粘土
6月 高野豆腐 泥
7月 寒天 春雨
8月 小麦粉 芝生

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

材料 米粉粘土・高野豆腐・寒天・春雨・小麦粉・芝生
環境設定 一人ひとりがじっくりと遊べるように少人数ずつ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ① 米粉粘土・高野豆腐を触る。
- ② 泥遊びをする。
- ③ 寒天・春雨・小麦粉を触る。
- ④ 芝生を踏んでみる。

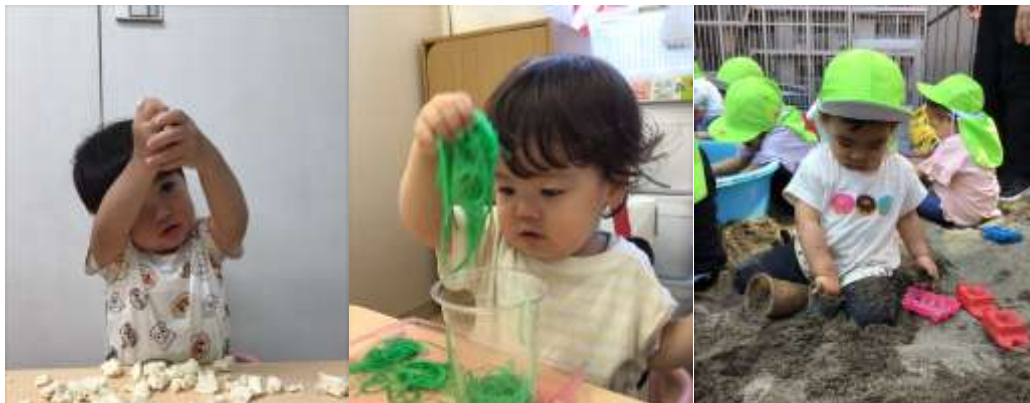
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

感触遊びの好きな児はすぐに手を伸ばしちぎったり叩いてみたりして感触を楽しみ、器やペットボトルを渡すとその中に入れたり出したりをしていた。

感触遊びが苦手な児は手を後ろに隠し抵抗を示していたがお友達が楽しんでいるのを見ると少し手を伸ばしてみる児もいた。

特に春雨と寒天は楽しいようで30分近く触り続ける児がいた。

保育者がゼリー屋さんになりきると児も真似をして「ゼリーどうぞ」とやり取りを楽しんだ。



5. 振り返り

初めての感触に会うというテーマで様々な物に触れ、子どもたちのリアルな反応を見ることが出来てよかった。集中して触れることで五感をしっかりと働かせて何かを得ている様子が伝わってきたのでくり返し感触遊びを行い遊び方の変化にも注目していきたいと思った。

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

感触が苦手な児、喜んで遊びに取り組む児とそれぞれの様子が見られたが、保育者も関わりながら言葉かけ一つで子どもたちがどんどん遊びを広げていく様子が見られたので関わり方の大切さ、環境設定の大切さを改めて感じた。
また感触遊びは子どもにとって大きな学びがある事、楽しい遊びだということが分かった。